

## 学会記事

◎ **第3回理事会** (昭 31. 8. 13) 出席者：平山会長，東，畠山，飯吉，柴橋，中安，逸見，米屋の各理事。議事：1) 7月中の行事その他報告，2) 日本学術会議第4期会員立候補者推薦について，3) 秋のエキスカッションとして“東北地建施工鳴子アーチダム (高 96 m) 工事”を予定し，中安理事が立案すること，4) 国際会議出席者その他の講演会または座談会の企画について，5) 製図規格委員樺島正二君後任に木原栄造君 (河川局治水課) を委嘱すること，6) 特別員の勧誘について飯吉理事に一任，7) 第3回大河内記念賞候補者推薦依頼については編集委員会に一任，8) 大阪付近地盤沈下対策委員会 (国鉄委託) 設置について (委員長) 森田紀元，(委員) 村山朔郎，三笠正人，三瀬 貞，高坂紫朗，小田仁，仁杉 巖，多田美朝，斎藤迪孝，白石俊多，(幹事) 坂田四郎，梅木一郎，粕谷逸男，松波哲夫，9) その他。

◎ **各種委員会**

1. **第3回会誌編集委員会** (昭 31.8.21) 出席者：糸川委員長，後藤東北，荒井(代)中部，成岡関西各地方委員，森，杉田，針ヶ谷，栗栖(代)，尾藤，猪股，竹下，奥田(代吉岡)，久保，岡崎各委員，中川書記長，深谷幹事，岡本編集部長。協議事項：1) 投稿原稿報告，2) 原稿審査報告および新原稿審査委員決定，3) 依頼原稿状況，4) 河上東北地方委員の後任として後藤幸正氏に決定，5) 10月号掲載予定原稿報告：

直交異方性版理論とその応用 (成岡昌夫)，姫川第二発電所水圧管改良工事について (福島・内田)，大阪市地下鉄建設工事概要 (田中・平野)，建設業界の諸問題 (大島満一)

2. **第3回会誌編集小委員会** (昭 31. 8. 3) 出席者：糸川，丸安正副委員長，栗栖，安河内，尾藤各担当委員，深谷幹事，岡本編集部長。協議事項：9月号編集につき最終的打合せを行った。

3. **第3回会誌抄録委員会** (昭 31. 8. 9) 出席者：八十島委員長，稲田，久野，嶋，西沢，沼田，野口，堀井，山田(代)，渡辺(代)各委員，山口幹事。協議事項：1) 9月号抄録5編を決定，2) 9月号文献目録を報告，3) その他。

4. **溶接鋼鉄道橋設計示方書委員会** (昭 31.8.2~3) 出席者：田中委員長，青木，福田，成瀬，田原，田中，奥村，多田，友永の各委員，西村，大谷，安浪，菊池，田島，阿部の各幹事，松崎連絡員。議事：1) 設計計算特に曲げモーメントとせん断力との合成を考慮した場合の計算法と許容応力について，2) プレートガーダーの腹板の厚さの限度と補剛材間隔について，3) 自動溶接承認試験案について行った実験結果の検討。

5. **第15回製図規格委員会** (昭 31. 8. 8) 出席者：福田委員長，高畑，水越，河野(代津田)，佐島，菊地，深谷(代佐伯)，木原，八十島の各委員，橋本幹事，佐藤，足羽の両君。議事：1) 水力発電の部第一読会終了，次回までに修正案を作製すること。

6. **第43回コンクリート鉄道構造物委員会** (昭 31. 8. 16) 出席者：吉田委員長，友永，坂本，高坂(代小檜山)の各委員，山内(代宮田)，川口，深谷，堀内，天野，野口，松本の各幹事。議事：第2編4条~7条の審議。

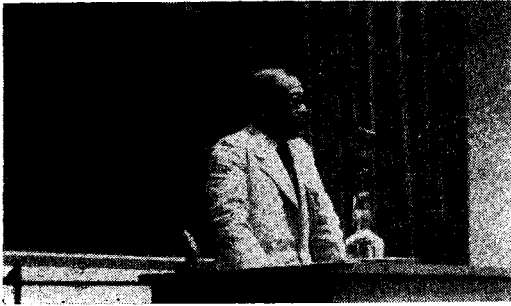
7. **第12回水理委員会** (昭 31.8.17) 出席者：安芸委員長，米屋幹事長，市浦(代原田)，吉川，岩塚(代柳瀬)，佐藤，寺島(代波多野)，坂本，高畑，米元，林，嶋，本間，岡田，村(代広瀬)，川村，伊藤の各委員。議事：1) 水理学研究の現況を，JSCの水力学水理学研究連絡委員会の要望もあるので，例年のとおり作成する，2) 風に関するシンポジウムの紹介(8,9号参照)，3) IUGGのNational Reportとして，明年9月カナダのトロントで開催されるIUGGの陸水分科会にわが国の水理学研究(1953~55)を報告する(安芸委員長取まとめ)，4) 水理公式集改訂委員会の本間委員長から，上下水道主査左合正雄君渡米のため岩塚良三君を主査とする申出を了承，5) 第2回水理研究会講演会を明年5月に開催する予定で，題目をa) 河床の水理，b) 沈澱，の2つとし，シンポジウム形式とすること，6) 安芸委員長長の欧州動力事情報告(本年7月ウィーンの世界動力会議に出席)，a) 英国では労働条件その他の関係で，石炭の増産が困難となつたので，火力発電は熱効率を上げそれをbase loadに使つて，peak loadのために水力開発がさかんである，b) ベルリン工科大学のプレス教授は，洪水，曝気浄水，スキージャンプ余水吐の研究を行つていた，c) グルノーブル水理研究所のダネル氏 (IAHRの会長) はIAHRの次回総会経費について会員のアンケートをとるとの意向。

8. **コンクリート示方書改訂委員会主査委員会** (昭 31. 8. 20) 出席者：吉田委員長，国分，川口の両主査，樋口，深谷，伊東，関の各幹事および河原補佐，議事：1) 無筋，鉄筋，道路およびダムの各分科会原案の字句修正統一等を行った，2) 各分科会に意見を具陳した方々を委員に追加し，9月5日総合委員会を開催し，最終案を審議し委員会成案とし印刷に付すること。

9. **第2回海岸保全施設委員会幹事会** (昭 31.8.31) 出席者：本間委員長，岩恒，岸(代富永)白石，中本，浜田，堀川の各幹事，石綿君。議事：波高に関するTechnical Reportを集めて討議すること，その他協議。

◎ **昭和31年度夏季講習会** (昭 31.8.22~25の4日間 早稲田大学共通教室において) 今回は災害とその対策に

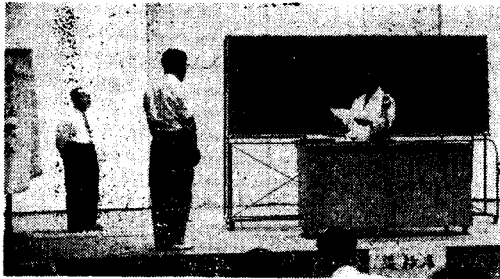
写真一 夏季講習会における平山会長挨拶



写真二 演員の聴講者



写真三 閉講式



ついて講習会を開いたところ、聴講申込みが続々とふえ22日早朝から会場につめかけ、定刻にはほとんど参集したので、米屋理事開会を宣し、平山会長登壇、講習会の趣旨と講師の御労苦ならびに聴講者の熱意に敬意を表し引続き予定のスケジュールに従って講習を進めた。

(第1日)

- 1) 台風 気象研究所 物理気象研究部長 理博 高橋 喜彦
- 2) 地震 東京大学教授 地震研究所 理博 高橋龍太郎
- 3) 法面安定と地スベリ

- 4) 地這りとその対策 建設省土木研究所 砂防研究室長 工博 福岡 正己
- 5) 海岸の波浪 建設省河川局砂防課 谷口 敏雄

(第2日)

- 6) 大阪、尼崎の地盤沈下とその対策

大阪湾技術調査会幹事長 第三港湾建設局次長 傍島 溱

- 7) 特別講演・台風による港湾災害の特性とその対策

国際港湾協会 中央事務局次長 黒田 静夫

- 8) 震害に対する一般的考察

東京大学教授 生産技術研究所 工博 岡本 舜三

- 9) 港湾の震害とその対策

運輸省 港湾局長 天竺 良吉

- 10) 雪害と対策

鉄道技術研究所 防災研究室 理博 塩谷 正雄

- 11) 道路における凍害とその対策

建設省土木研究所 海岸研究室長 工博 竹下 春見 (第3日)

- 12) 河川災害とその対策

建設省木曾川下流工事事務所長 西畑 勇夫

- 13) 新潟の海岸欠損における諸問題

運輸技術研究所 港湾物象部水理研究室長 工博 浜田 徳一

- 14) 鉄道災害とその対策

国鉄施設局土木課長 高坂 紫朗

映画内容:

1. 台風之眼 (気象研究所提供)
2. ハリケン (々)
3. 沈み行く尼崎 (兵庫県提供) 全3巻
4. 佐久間幹線 天然色 (電源開発KK提供) 全3巻

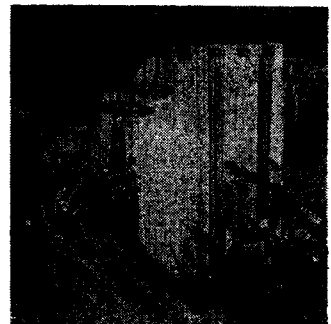
本年は8日中甸まで猛暑続きで講習会にはどうかと心配したが、当日は多少雨を加えて涼味を覚え、一同熱心に聴講した。第3日は映画に移る前に終講式を行い、米田副会長から聴講者代表、長崎県土木部老岐出張所北川愿君に満場拍手のうち修了証を授与したのち、同副会長の終講の挨拶があつた。映画は今回の講習会にふさわしいもので一同に多大の感銘を与えた。聴講者の所属別内訳は次のとおりであつた。

建設省(都道府県を含む)関係	96	大学関係	11
都市関係	46	鉄道関係(国鉄)	106
運輸省港湾局関係	60	民鉄	18
農林省関係	9	通産省関係	7
建設業界	46	その他	2
		計	401

第4日 見学会:

夏季講習会行事として本年は第1~第7班に分れて見学会を催した。ちょうど天候も回復し絶好の見学日和となりそれぞれ所定のコースで担当者の懇切丁寧な説明を得、一同予期以上の成果を収めた。

写真一四 小河内ダム(第1班)



写真一五 あかつき丸船上にて(第2班)



終りに東京都水道局および港湾局、運輸省第2港湾建設局、川崎市および横浜市、気象庁、建設省土木研究所運輸技術研究所その他関係諸会社当事者に深甚の謝意を表する次第である。各班の参加人員は次のとおりであつた。

1. 東京都小河内ダム建設工事……………59
2. 東京、川崎および横浜各港……………28
3. 気象庁、テレビ塔および日本ビールKK目黒工場……………44
4. オリエンタルコンクリート多摩工場……………23
5. ビー・エス・コンクリート鶴宮工場……………14
6. 土木研究所赤羽および篠崎水理実験所・アナビール吾妻橋工場……………31
7. 運研・久里浜水理実験所……………13

写真—6 気象庁にて(第3班)

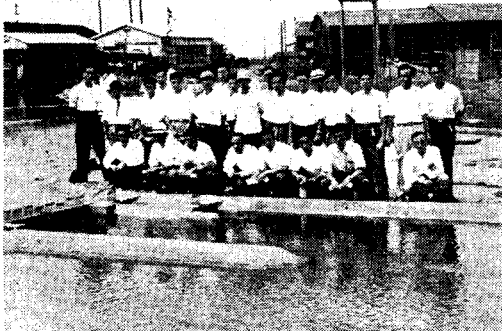


◎ 夜の新京東観光 昨年好評を博したので今回も企画したところ参加者38名。写真—7 ビーエスコンクリートKK

24日5時映画終了後会場前でハトバスに分乗し、案内嬢の名調子を聞きながら田村町を通り歌舞伎座に入り新国劇公演“霧の音第4幕”を観劇、しばし陶然としたところで再び車上の人となり、日本橋大増で夕食を喫し、フロリダダンスホールで音楽を味わい、日劇ミュージックホールを訪れ9時30分散会した。



写真—8 土木研究所篠崎分室にて(第6班)



◎ 国鉄施設局長から前年度に引続き下記研究委託を受けた。

- 1) 溶接鋼鉄道橋設計示方書の研究
- 2) コンクリート構造物設計基準の研究
- 3) 大阪駅付近沈下対策としての多井式再充水工法に関する研究

◎ その他

1. 夏季講習会講師打合せ(昭31.8.20)出席者:平山会長,東,米屋の両理事,高橋喜彦,高橋龍太郎,谷口敏雄,佐藤清一(代岸),黒田静夫,岡本舜三,塩谷正雄,竹下春見,高坂紫朗の各講師。議事:1)各講師にテキストを贈呈し,平山会長の挨拶ののち,講習会当日の詳細な打合せを行った。

## 2. 土木学会有志ゴルフ会の復活記念トーナメント

(昭31.8.29,東雲クラブにおいて)昭和15年標記ゴルフ会が誕生し春秋2回大会を開き3年間継続したが戦争のため中絶し今日に及んだ。最近同好の士が増加し復活の声が高くなつたので,今回復活記念としてトーナメントを挙行政した。当日折悪しく雨天であつたが参加者20名を得て盛大であつた。その成績は1位 黒田重治(ネット71),2位 市村益夫(74),3位 田中五郎(75),4位 岡本 港(75),5位 立花次郎(76),10位 金子源一郎,15位 渡辺和夫,B賞 平山復二郎の諸君であつた。当日会規約を決定し,会長に平井喜久松君を推し,同氏から委員の選任を一同にはかり決定した。この会はもちろん独立会計とし,土木学会正員は年会費を負担して,自由に入会することができるから御希望の方は事務局へ申出て下さい。現在会員75名である(氏名省略)。

## ◎ 関係諸会議

1. 文部省国立競技場設立協議会建設部会(昭31.8.9)当学会から星 和,会長代深谷俊明の両君。議事:中山委員から欧州競技場視察報告および陸上競技連盟から星委員へ土質的注文を提出することとした。

2. 第3回風に関するシンポジウムに関する打合せ(昭31.8.10)当学会代表として米屋理事出席。議事:気象学会外10学会共催で来る11月12~13日東大理工研において開催し,9月30日までに講演参加希望者は申出ることとした。

3. 日本学術会議派遣日本水利科学訪中代表团打合せ(昭31.8.24)日本学術会議では,かねて中国から水利専門家を招聘したいとの交渉を受け,土木学会から推薦した人々について人選の上先方へ回答した結果,8月4日正式招請状を受けたので同会議茅会長,大山第5部長,菊池,中原両会員,本田事務総長の諸氏と代表団員(伊藤氏欠席)と種々打合せを行った。

(代表 団長) 谷口 三郎君 (水 文 関 係) 連水領一郎君  
(水 利 関 係) 伊 藤 剛君 (水 力 発 電 関 係) 市 浦 繁君  
(こんがい関係) 小 柳 弥君 (秘 書) 石 村 太 助 君

## 支 部 だ よ り

1. 北海道支部 佐藤支部長7月30日來会,平山会長,東総務部長と明年の総会および年次講演会の時期について打合せを行った。

2. 東北支部 地方編集委員に後藤幸正君を推薦,夏季講習会(昭31.8.2~3日,復興建設技術協会東北支部後援,土質工学会東北支部と共催)参加者:110名,講師および題目:(奥津春生)地質調査とボーリング,(青山正幸)試料採取について,(今野彦貞)土の粒度および物理試験法,各種試験機械器具の実際操作説明,(河上房義)土の工学的性質の試験,(高橋武雄)建築基礎の平板および杭の支持力試験,(横戸 実)路床路盤支持力

測定法のさまざま。

3. 中部支部 第5回幹事会(昭31.8.7)出席者:前田支部長外幹事21名。議事:1)羽布ダム見学会報告,2)第3回見学会,3)支部大会及び研究発表会,4)金沢における講演会,5)その他。第3回見学会(昭31.8.19.佐久間及び秋葉ダム)11.40中部天龍駅からバス2台に分乗,電源開発事務所で永田所長の説明を聞き昼食後バスで佐久間及び秋葉ダム現地に向い,親しく見学の後浜松にて午後5時浜松駅前で散会,参加者70名。

4. 関西支部 商議員の異動:小林正雄,南俊次の両君転出につき後任に吉田登(関西電力KK建設部長),北村正之(大阪府土木部道路課長)の両君を依頼。第6回土木工事研究会(昭31.8.24)参加者95名,演題と講師:1)大阪奈良有料道路計画(大塚全一),2)名古屋神戸有料道路計画(吉田喜市),3)比叡山登山自動

車道計画(松尾新一郎)。

5. 中国四国支部 支部長交代:新支部長広島鉄道管理局長:滝山 養,編集委員変更:新委員 網干寿夫

6. 西部支部 夏季講習会(昭31.8.24~25,雲仙国立公園において)

講演題目および講師:

(24日)長崎県における道路計画上の二三の問題(中島不二夫),有明海の総合開発について(寺田一彦),土木工学の諸問題(伊藤 剛),最近の水力発電所について(田代信雄),PSコンクリートについて(木村又左衛門),港湾工事用の作業船舶,機械について(笠原 宏),(25日)海底水道の布設について(中山敏雄),砂杭による地盤の圧密計算(水野高明),スライドその他,午後バスに分乗して,西海橋の見学を行い非常に盛会であった。

### 昭和 28 年西日本水害調査報告書頒布

本書は昭和28年西日本を襲った水害の調査成果の報告であり,昭和31年度文部省研究成果刊行補助金の交付により刊行の運びとなつたもので,本災害の土木工学的全貌を約600頁の大冊にまとめるべくなくとりまとめ永久に記録保存しようとするものであります。また本書は詳かに災害の原因に対する考察及び防災工事計画の検討が行われており,将来の防災対策への貴重な指針を示すものであります【土木学会西部支部長 近藤 勇氏 刊行のことばより】。

#### 【申 込 要 領】

頒布方法	会員配布につき予約申込制	B5版	美菱上製本カバー付
予約締切日	昭和31年10月31日	予定頁	570頁 折込7枚
配本予定日	昭和31年12月15日	図表	約400枚 写真約150枚

全 1 巻 予 定 会 費 ￥ 3,000

- ・本書はその性質上限定会員配布でありまして期間内にお申込み下さい。
- ・お申込願に來り12月15日以降お送りいたします。
- ・会費は,現品添附の請求書によつて,折返し申込先へお払い込み下さい。
- ・予定会費は若干の変更があるかも知れませんのでお含みおき下さい。

申込先:福岡市天神町 福岡県庁土木部河川課 土木学会西部支部 坂 田 静 雄

#### 主 要 目 次

第1部 気 象	第2部 河 川	第3部 道 路	第4部 橋梁(道路橋)	第5部 鉄 道
第6部 砂 防	第7部 都 市	第8部 港 湾	第9部 水 力 発 電	

#### 昭和31年8月分入退会報告(昭31.8.1~8.31)

1. 入 会	35名(特1級1,特2級2,特3級1,正13,准15,学生3)
2. 退 会	20名(正5,准13,学生2)
3. 転 格	9名(准より正へ7,学生より准へ1,特2級より特3級へ1)

#### 会 員 現 在 数(昭31.8.31現在)

名誉員	賛助員	特別員 1級,	2級	3級	正員	准員	学生員	合計	増加
20	30	31	76	118	5296	6321	1150	13042	15

昭和31年9月10日印刷

昭和31年9月15日発行

土木学会誌 第41巻 第9号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社 技報堂

東京都港区赤坂溜池5番地

編集兼発行者 中川一美

発行所 社団法人 土木学会

東京都千代田区大手町2丁目4番地

定 価 100円

振替 東京 16828 番

電話 (20) 3945・4078 番